

# TTC主催山行の山行レベル設定のガイドライン

2014.1.18制定 TTC

## ◆ 山行のレベル基本設定基準

No.	星によるレベル表示	言語によるレベル表記	1日当たりの設定歩行時間の目安	累積標高差(登り/下り同一の場合)の目安(参考値)
1	☆/0.5	walkingレベル	2.0時間未満	<300m
2	★/1.0	軽いハイキングレベル	2.0以上～3.5時間未満	300～550m
3	★★/1.5	通常のハイキングレベル	3.5以上～4.5時間未満	550～750m
4	★★★/2.0	一般向け登山	4.5以上～6時間未満	750～900m
4	★★★★/2.5	やや健脚向き登山	6以上～7.5時間未満	900～1200m
5	★★★★★/3.0	健脚向き登山	7.5以上～9時間未満	1200～1500m
6	★★★★★/3.5	かなり健脚向き登山	9以上～11時間未満	1500～1800m
7	★★★★★/4.0	相当健脚向き登山	11時間以上	>1800m
8	★★★★★/5.0	熟達者向き	難易度・危険度・体力度が相当以上に高い山行(沢迦行岩稜のハリエーションルート、厳冬期積雪登山等)	

下りを登りに換算【下りx0.75】/登りを下りに換算【登りx1.33】

## ◆ 山行コース状況によるレベル加算/減算基準

No.	加算/減算量	該当条件
1	0.5(☆)加算	①沢筋・岩稜・クサリ・ハンゴ・ロープ・ガレ場・雪渓等の危険箇所があるコース。 ②同一レベルの歩行が2日間以上続く山小屋泊&天幕泊(定点)山行(旅館・民泊を除く)。 ③6本爪アイゼン・準冬山装備が必要な森林限界以下の積雪期山行。 ④早朝4:30am以前に厚木を出発し、当日4.5時間以上歩行する山行。 ⑤夜行(バス・列車)山行で、翌日2時間以上～4.5時間未満歩行する山行。 ⑥登山地図に記載がない、登山標識がない等の道迷いの危険度が高いハリエーションルート。
2	1.0(★)加算	①沢筋・岩稜・クサリ・ハンゴ・ガレ場・雪渓等の危険箇所を長時間行動する。 ②天幕・自炊/無人小屋・自炊泊縦走山行(ザック重量12kg以上を背負って行動する) ③前爪のあるアイゼン、ピッケル等の冬山標準装備が必要な積雪期登山(森林限界以上等)。 ④夜行(バス・列車)山行で、翌日4.5時間以上歩行する山行。
3	0.5(☆)減算	①歩行時間の割に累積標高差が目安より少ない(平坦なコースの歩行が多い) ②整備された林道や一般道の歩行が全行程の1/3以上を占める山行。

## ◆ その他の特記事項

No.	特記事項
1	沢装備で入渓する沢迦行山行は基本的に[★★★]以上とし、技術度・危険度を考慮して立案者が設定する。 ザイルを使用しての登攀も同様とする。 森林限界以上の積雪期登山についても同様とする。
2	複数日にまたがる山行においては、もっともグレードの高い行動日のレベルを基準にする。
3	加算/減算に該当する項目が複数ある場合は、その総和とする。
4	定例山行は原則としてレベル★★以下とする。 レベル★★★以上の山行には、具体的・客観的・定量的な参加資格条件を計画書等に明示することが望ましい。